MUFG

【無料セミナー】開催のご案内

観光の価値共創　人づくりと交流で拓く共栄型まちづくり

開催日時	2026年12月23日（水） 13:00～16:30	対　象	観光・地域活性化に資する事業に携わる自治体職員、観光協会・DMO職員、観光分野での地域活性化の取組に関心を持つ事業者の皆様　等
開催方法	完全オンライン（事前申込制）	主　催	三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社

セミナー概要

全国各地で人口減少や担い手不足が進む中、観光分野においては、誘客による消費拡大だけでなく、人材育成、地域資源の活用、経済循環の促進などを通じて、持続可能な地域づくりに貢献することが期待されています。本セミナーでは、次世代の観光地域づくりを担う人材育成をはじめ、観光財源の活用、データに基づく戦略立案、地域資源の高付加価値化、地域内循環の創出などをテーマに、持続可能な観光地域づくりの実践を紹介します。

プログラム

※プログラムについては予告なく変更する可能性があります

No	時間	内　容
1	13:00～13:05	**■開会挨拶**
2	13:05～13:50 質疑応答 13:50～14:00	**■基調講演　ジュニア世代へのご当地観光学びによる共創まちづくりの提案** 玉川大学名誉教授・名桜大学特任教授　寺本　潔 氏 持続可能な観光地域づくりの実現には、次世代を担う子どもたちの育成が欠かせません。本講演では、地域の歴史・文化・産業・観光資源を学ぶ「ご当地観光学び」の実践を通じて、子どもたちのシビックプライドや多角的な思考力、地域への参画意識を育む取組を紹介します。観光客視点で地域の魅力や課題を捉え直し、住民・事業者・行政がともに地域の未来を創る共創型まちづくりの可能性について考えます。
3	14:00～14:20	**■話題提供①　持続可能な地域を形成するための宿泊税の確保・使い道** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　副主任研究員　片平 春樹 宿泊税導入の最新動向と全国自治体の使途事例から、人づくりや交流における財源活用の実態や宿泊税が果たす役割を解説します。
4	14:20～14:40	**■話題提供②　人流データで読み解く観光地のリアル** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　主任研究員　水谷 洋輔 人流データの数字の裏側には、どんな観光客の行動が隠れているのか。データから「読めること・読めないこと」を交え、観光地のリアルに迫ります。
5	14:40～15:00	**■話題提供③　観光消費を地域の力に変える～経済波及効果分析を活かした地域内循環と価値共創～** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　主任研究員　右近 崇 経済波及効果分析を手掛かりに、観光客の支出を地域の調達・雇用・次の消費へつなげる視点を示し、地域内循環と価値共創を進めるための方策を探ります。
休　憩		
6	15:10～15:30	**■話題提供④　文化財を活かした持続可能な観光** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　研究員　服部 愛 文化財の「保存と活用の両立」を踏まえ、地域ならではの体験や交流を生む観光活用の可能性と、持続可能な観光につなげるためのポイントを解説します。
7	15:30～15:50	**■話題提供⑤　観光×地域循環で目指す共栄型まちづくり** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　副主任研究員　加藤 千晶 観光行動に伴い発生する食品廃棄物を地域資源として活用等する事例の紹介を通じて、多様な主体の連携による地域循環と観光価値共創の可能性を考えます。
8	15:50～16:10	**■話題提供⑥　地域の資源・人を活かしたスポーツツーリズムの可能性** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室長　上席主任研究員　内田 克哉 地域魅力向上、観光振興、地域経済の活性化につながるスポーツツーリズムについて、人材や施設、自然環境などを活用した取組事例を紹介し、事業推進のポイントを解説します。
9	16:10～16:30	**■話題提供⑦　地域の特色を活かした県立高校の観光人材育成** 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング　観光戦略室　マネージャー　深山 雄一郎 長野県立白馬高校は、国際的スノーフィールドを背景に、国際観光科を設置、地域みらい留学制度も活用し、人材育成に取り組んでいます。地域における観光人材育成事例を解説します。
10	16:30～	**■閉会挨拶**

基調講演　講師のご案内

■寺本 潔(てらもと　きよし)氏
玉川大学名誉教授・名桜大学特任教授、元愛知教育大学教授

◇てらもときよし・1956年生まれ
◇筑波大学大学院修了後、同大学附属小学校教諭を経て愛知教育大学地理学教室助手・助教授・教授と25年間勤務。
◇2009年、玉川大学に転任し、同大学教育学部長等も歴任した。
2022年、東京成徳大学特任教授を経て、現在は公立大学法人名桜大学国際観光産業学科特任教授。
◇文部科学省学習指導要領作成協力者、中央教育審議会専門委員を歴任。
◇現在は、日本地理教育学会評議員、ちゅうでん教育振興財団評議員、日本観光振興協会人材育成委員会副委員長を務める。
◇2024年より長崎市が推進する「未来クル長崎プライド育成プログラム」に参画し、小中学校現場で観光教育出前授業を実施中。一昨年より、石垣市観光文化課や旭川市産業振興課からの依頼で地元の小中学生20数名を対象に「子ども観光学講座」を開始した。
◇著書は『地理認識の教育学』(帝国書院)、『観光教育への招待(ミネルヴァ書房)』、『観光市民のつくり方』(日本橋出版)ほか59冊。
◇YouTubeに「観光教育ノススメ」(観光庁)や「ローワンベリー:子ども観光学講座」、「長崎市観光出前授業」(長崎放送ニュース)等の動画がある。



お申し込みの流れなど

申込締切:12月18日(金)

下記URLまたは右の二次元コードから
申込フォームにアクセスしていただき
必要事項をご記入の上、送信をお願いします。

https://questant.jp/q/MURCSeminar2026

後日、改めて接続先をご連絡致します。

お申し込み・開催に際しての留意事項

- お申し込み多数の場合、ご希望に添えない、参加のご調整をお願いすることがございます。
- 反社会的勢力に該当すると認められる場合は、お申し込みを受付することができません
- 同業者の方はお申し込みをお断りさせていただく場合がございます
- 止むを得ない事情により、予告なくプログラムに変更が生じる場合がございます
- 本セミナーの録音・録画はお控えください

個人情報の取り扱いについて

1. ご記入いただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(https://www.murc.jp/corporate/privacy/)及び、「個人情報の取り扱いについて」(https://www.murc.jp/privacy/)に従って適切に取り扱います
2. お預かりした個人情報は、当社において、本セミナーの運営及び本セミナーに関するご連絡、今後のセミナーのご案内、セミナー企画の参考、コンサルティングのご紹介の目的に限って利用し、厳重に管理いたします
3. お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません
4. お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者に預託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
5. 申込書の必須項目には必ずご記入ください。申込フォームの必須項目にご記入いただけない場合、または個人情報の取扱いにご同意いただけない場合は、本セミナーへのお申し込みを受け付けることができません。また、ご記入内容に不備がある場合は、改めて内容の確認をさせて頂く場合がございます。なお、必須項目以外のご記入は任意ですが、できるだけご記入いただけますようお願い申しあげます。
6. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記の「本セミナーに関するお問い合わせ先」までご連絡ください

本セミナーに関するお問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)　政策研究事業本部　観光戦略室
申込受付担当:内田、服部　　Tel: 052-307-0901(内田)、052-307-1075(服部)
Email(受付・問合せ専用): kanko-nagoya@murc.jp

寺本潔氏 基調講演関連資料（1/2）

2026年度 観光戦略室セミナー基調講演レジュメ
演題：ジュニア世代へのご当地観光学びによる共創まちづくりの提案
講演者：寺本潔（観光教育家、玉川大学名誉教授、名桜大学特任教授）

１なぜ、ジュニア世代によるご当地観光学びなのか

10歳～14歳頃のジュニア世代は単純に住んでいる自治体への愛着だけに留まらず、都会への憧れや自地域への批判的なまなざしも芽生え始め、進学する高校とその先に大学や専門学校への進路を意識するようになる。地域経営としてのまちづくりに自分の住むご当地が明確な方向性や持続可能性を打ち出せないでいると、大都市への安易な転出意識が芽生えかねない。つまり、自治体の未来を担う若年層を確保できなくなるのである。 ジュニア世代へのご当地観光学びは、そこに一定の効果を期待できるのではないか。

２ご当地観光の学びは、どうして有効なのか

ご当地の自然や歴史文化、産業や人々の生活風景などの題材は多岐にわたるが、観光というフィルターを通して組み直してみれば未来のポジティブな改善対象として目に映るようになる。例えば、廃れ始めている商店街でも観光提案という思考を介しながら共創によるまちづくりへの意欲が湧き始める。観光題材は興味深く、観光客という他者目線がマーケティングの見方を刺激する。地域をどう経営していけばいいのか、役所任せにしないでジュニア世代が参画していく姿を周囲の大人たちに見せていく機会が 地域 に刺激を与えていく。

３「子ども観光学講座 in 旭川」がねらうこと：

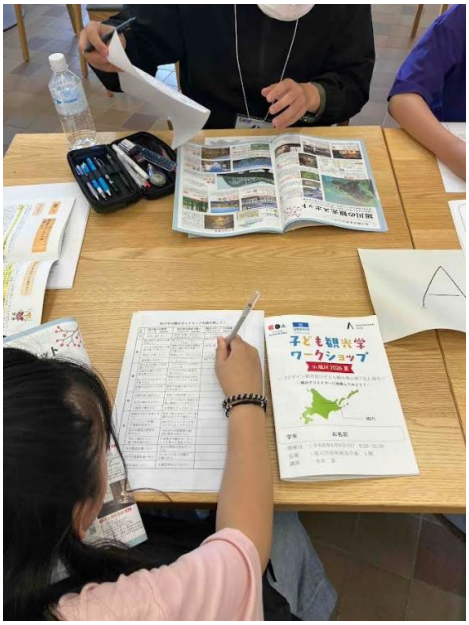
学びの場から未来の観光ガイド隊へ

小4～中2 20数名で開催している「 子 ども観光学講座」は旭川市の観光資源を再発見し観光客の目線からこれからの旭川 を考えるきっかけとなっている。漠然と捉えているご当地の知られざる魅力の顕在化が参加したジュニア世代と保護者にもたらされる。これを次の段階である「伝える」という段階へ引き上げる中で「市民に伝える」「東京から来訪した観光客に伝える」というステージに移行したい。達成したい目標は市内の小中学校における観光探究の授業採用とジュニア観光ガイド隊の結成である。これらは宿泊税の還元策にも成りうる。「子どもが動けば地域が変わる」「ご当地観光学びは未来への投資」をスローガンにしたい。

４期待される 効果

① 観光教育によるご当地振興への参画意欲の創出
② ご当地の若者世代と市民のシビックプライドの顕在化
③ ジュニア観光ガイド隊によるご当地魅力発信
④ 内外から訪れる観光客との交流機会
⑤ ご当地ならではの産業観光への波及

寺本潔氏 基調講演関連資料（2/2）







写真：今夏8月に旭川市役所とリゾートホテルロビーにて実施された「子ども観光学ワークショップ2026夏in旭川」での様子（写真提供：寺本潔氏）

・ワークショップ独自のテキストとご当地の観光パンフレットの活用
・ホテルスタッフによるサービスの解説
・独自に開発した12種の旭川観光顔ハメボードを使ってCMづくり